



自治体交渉の時期です！！

みなと福祉会分会 河辺 恵

毎年、夏から初秋は、各自治体に組合として交渉する時期です。今年度の障害協議会は、メンバーの交代もあり、要求書をまとめるのにも、みんな手探り状態。まずは、名古屋市への要求書づくり。障害者の職場と障害児の職場に分かれて、昨年度の要求書を基に要求項目を考えました。学習不足でわからないことも多い中でしたが、みんなで意見を出し合いまとめました。要求書を提出してからは、作戦会議。若手の組合員は、台本を作って「これでいいですか？」とみんなの前で確認してのぞむという頼もしい姿もありました。

まず、障害児分野が先に交渉し、別の日に障害者分野が交渉しました。障害者分野では、名古屋市内の組合に加盟している全ての職場から参加があり、発言がありました。事前に台本を作って望んだ「えがお分会」の二人の発言もぼつちりでした。新しい課長さんになって2回目の交渉でした。こちらの要求どおりの回答は、ありませんでしたが、「骨格提言は非常に重要であると考えている」との課長さんの発言がありました。また、昨年以上に現場の声を聞く姿勢があることを感じ、嬉しくなりました。これも組合が、粘り強く継続している成果だと思います。

昨年度から、始まった「計画相談」についての発言も多くあり、新事業については、特に現場の生の声を伝える、発信していくことが大切だと思いました。

愛知県への交渉は、これからです。職場が点在しており、組合の担い手も少ない中で要求を束ねていくことは、名古屋市内に比べてとても大変だと思います。(私もあまり協力できず申し訳ないと思っています。)ねばり強く、あきらめないことが、大事だと思います。共に、がんばりましょう！

今回、市交渉と
相談支援のところで発言
させていただきました。他の
みなさんも発言していて、
勉強になります。
今後も参加していきたいです。
みなと福祉会
相川

初めて市役所の中に入
って別に自分が交渉する
訳でもないのに緊張したが、
みんなちゃんと勉強してこも
変えていってほしいと交渉してい
る。それに対する役所の対応も
かめずのがうまいと思った。
しおかせ事務所(みなと福祉
会)

みんなの感想集

今回、初めて市交渉に
参加させていただきました。
話を聞いていて、難しい内容も
多かった。なのでまだ「勉強が
足りない」と思いました。
制度に反映させるためには、現場が
現状を伝えることが必要だと
感じました。
みなと福祉会
横井 亜耶

現場の声を直接、
切実に訴えられる機会に
立ち合えて、とても勉強になりました。
昨年と同じような要求しているところも
あって、「変える」とは簡単なことでは
ないけど、考えさせられました。
でも、あきらめずに要求してい
くことが大切だと思いました。
みなと福祉会
堀 木

はじめての参加でした。
市役所に入るだけで
緊張でしたが、
良い経験になりました!

みなと福祉会 青木

初めての市交渉は緊張
しました。話は難しいのもあり
ましたが勉強になり、自分にとって
良い経験になりました。

えがお分会 末吉

初めての市交渉で、見ては
だけしかできませんでしたが、
参加できたことで、制度のこと
市の情勢など理解を深める
ことができました。まだまだ分からない
ことだらけなので、ついていけるように
勉強していきたいと思います!

三友風会

名古屋市交渉は相手は市
ということが緊張しましたが、3通
園と一緒にたふて 闘っていると
いうことが、とても頼もしく感じま
した。みんなと一緒に頑張ってい
きたいと思います。 桑達センターちよだ
西島

今回、文章にすることで
改めて考えることができ
ました。よりよい職場に
なることを願います。
勉強にありがとうございました。
ありがとラジマしました! ちよだ
桑達センターちよだ 西島

私には難しいわがうないところもあり
ましたが、参加させていたことで
考えさせられました。日々の療育のことだけ
ではなく、行政への働きかけも必要であると
実感しました。 あつた/分会 原田

名古屋市の方と直接意見が交換
できるため、とても重要で貴重な場だと
思いました。実現することが難しい事でも
名古屋市の方に現状を知っていただく
事にとても意味があると思いました。
あつた分会 小林

初めて、市交渉に参加し、文章も書かせて
いただきました。文章ではどう書けばいいか
悩みましたが、私たちが働いていて感じた
ことや思いを、こうして伝えたいこと、訴える
ことが大切なのだと感じました。
ちよだ栗本

初めての市交渉だったので、いろいろ勉強
になりました。市交渉をするこにより、今の
自分達が様々な補助にたつたパレ
ていると思いました。
もっと勉強が必要だと思いました。
えびお谷 奥田

市の職員の方に意見を伝え
る場面があるのを初めて知り
ました。今の制度がびよく分かって
いなかったのど話しの中でとても
勉強になることが多かったです。
三友風会

福祉行政とは生活の根幹にかかわる内容です。障害者福祉施策のみならず、平和の問題や労働行政、高齢分野や生活保護、年金に税金といった一見バラバラに見える要因のピースをしっかりとつなぎ合わせて見ていかなくては、結局ブツ切れの施策が出来上がってしまうんだろうなと感じました。交渉については担当課からはたくさんの方が出席いただけて有意義な時間となりましたね。

さくらんぼ 麻生

さくらんぼとして参加の組織や発言の割り振りを十分にできず自分が発言するにとどまってしまうました。要望はその年ですぐに解決するわけではないので今回出した要望を引き続きあげていき、こちら側としても十分な実態をまとめ伝えていくことが必要だと思います。

さくらんぼ 濱田

私は今回初めて福保労として参加したが、さくらんぼあるいは他の事業所の福祉の現場としての訴えが伝わってきた。例えば相談支援事業について、1つの事業所の相談の受け持ち件数がさくらんぼは77、他の事業所は100を超える所もある、だが名古屋市は40と聞いてビックリした。これでは支援員の負担が過重になり、利用者への相談も丁寧さを欠くことにもなりかねない。もっと研修の制度を拡大し、受講資格を緩和できるような体制を作っていくべきだと思った。他にも利用者の診療中の支援に対しても答えが曖昧なことから、今回の訴えを参考にして明確にしていってほしいと思いました。私は福祉の現場について、まだまだわからないこともあり、不安でいっぱいですが、これからも交渉、あるいは話し合いの場に参加していきたいと思いました。

さくらんぼ 片岡

二年連続の参加でした。発言はしませんでした参加することに意義があると思いました。請求実務を行っている上で、医療部分の請求範囲の発言が一番印象に残りました。徐々に制度が変わっていく中で、生活保護費引き下げに関わり生活範囲がどう変化したのか等を来年は発言し、よくなるよう訴えたいと思いました。

さくらんぼ 服部



たきこみごはんを読んでもくださったみなさん
投稿をお待ちしております！

編集 担当 河辺
TEL052-302-1075
FAX052-302-1077
soudansien_iruka@yahoo.co.jp